

平成 30 年度  
教育委員会の事務の点検・評価報告書  
(平成 29 年度事業分)

平成 30 年 8 月

始良市教育委員会

# 目 次

I	教育委員会点検・評価制度の概要等について	1
II	平成 29 年度教育委員会事務局の点検・評価について	3
	教育委員会事務局	
	(1) 教育総務課	3
	(2) 学校教育課	4
	(3) 社会教育課	5
	(4) 図書館事務局	6
	(5) 保健体育課	7
III	教育委員の平成 29 年度点検・評価・意見・要望等について	9
IV	外部評価委員の平成 29 年度点検・評価・意見・要望等について	18
V	始良市教育委員会事務事業点検・評価シート	別冊
	【資料】	
	教育委員・外部評価委員名簿	34
	始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則	35
	始良市教育委員会外部評価委員会規程	36

## I 教育委員会の点検・評価制度の概要等について

### 1 制度の概要について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）の一部改正により、平成20年度からすべての教育委員会が、「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」を行い、その実施に当たっては、学識経験者の知見活用を図るものと規定された。

また、その結果については議会へ報告し、市民に対して公表することも規定されている。（以下「条文抜粋参照」）

#### ○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む)を含む)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

### 2 始良市教育委員会の点検・評価の実施方針について

始良市教育委員会において、平成29年度に実施した事務事業の内容について、始良市の教育(教育行政要覧)の各課重点施策を基本に、評価項目を47の項目に分類する。そして、事務事業自己点検・評価シートを作成し、教育委員会事務局内部で評価を実施した後、各教育委員の点検・評価を受け、その後、教育に関し学識経験を有する5名で組織する外部評価委員会を開催し、点検・評価実施後に、報告書を取りまとめる。

9月定例教育委員会での議決を経て、平成30年第3回定例会(9月議会)へ提出する。

また、報告書は平成30年10月以降に、始良市のホームページ等を活用して市民への公表を行うこととする。

3 評価点数結果及び各課の評価項目件数について(別紙 V 市教育委員会事務事業評価シート参照)

47 評価項目の合計評価点数は平均 4.6 点、始良市教育振興計画に基づく取組の着実な実施と、子育て基本条例に基づく社会全体の協働による子育て・人づくりのための具体的施策を展開した。

評価項目は、教育総務課 8 項目・学校教育課 12 項目・社会教育課 12 項目・図書館事務局 4 項目・保健体育課 11 項目で、合計 47 項目である。

4 評価点数について

評価点数は 5 段階評価とし、以下のとおりとする。

評価	評価の基準等	目標等達成の目安
5	目標を十分に達成し、期待以上の成果が得られた。	8 割 ~ 10 割
4	目標を概ね達成し、ほぼ期待どおりの成果が得られた。	6 割 ~ 8 割
3	目標を半分以上達成し、ある程度の成果が得られた。	4 割 ~ 6 割
2	目標をあまり達成できず、成果が少なかった。	2 割 ~ 4 割
1	目標をほとんど達成できず、成果がなかった。	0 割 ~ 2 割

5 平成 30 年度の自己点検評価報告書作成スケジュール

日 程	内 容
7 月 10 日	定例教育委員会での外部評価委員委嘱の承認
7 月 24 日	第 1 回外部評価委員会の開催 (教育委員会自己点検評価結果報告及び外部評価の依頼)
7 月 27 日・30 日 8 月 1 日・9 日・14 日	外部評価委員から受領
8 月 23 日	第 2 回外部評価委員会の開催 (外部評価結果のまとめ及び自己点検報告書(案)の策定)
8 月 31 日	自己点検・評価報告書の作成
9 月 13 日	定例教育委員会に点検・評価結果報告書の議案提出
10 月	市議会第 3 回定例会へ点検・評価結果報告書の提出
10 月	市民への公表(市ホームページに掲載)



## II 教育委員会事務局の点検・評価について

### 1 教育総務課

『教育委員会の活性化の推進』については、定例会開催日の固定化により概ね委員全員の出席がなされ、臨時会は時宜を逸しないよう努めた。そして、3日前までに資料配付を行うことにより、事前検討がなされ、活発な質問や意見につながっている。

条例・規則等は見直しに努め、制定・改廃等27件の審議を行った。今後も、日常的に所管の教育行政の個々の課題等について、研究していきたい。

また、県・地区主催の研修会や市独自の研修への参加により、見識を深める機会となっている。特に県外研修においては、本市の課題点の整理と解決策の取組みを学ぶことができた。

職員研修については、さまざまな研修会への参加を促すとともに、年度当初の教育委員会の職員研修及び、夏季の学校司書・用務員研修を行った。人事評価制度は、職員のスキルアップという制度趣旨の理解を高めるために、今後も研修の機会を設ける必要がある。また、健康診断については、職員の健康に対する意識高揚のために、積極的な受診を促した。

『適正な財務事務の推進』及び『良好な教育環境整備の推進』については、事務職員研修会の中で、財務会計システム操作や財務会計処理の仕方、帳票作成等を指導し、適正な予算執行に努めた。学校予算については、児童数の増加等必要性の高まりに応じた予算の確保に努める必要がある。

市内小・中学校の校舎、屋内運動場については、老朽化が進んでいることから、学校からの修繕要望が増える傾向にあり、限られた予算配分の中で長寿命化策も踏まえて改修に努めたい。

外部評価委員の8項目評価点は平均4・8点

#### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 職員研修は、市役所全体の研修の他、年度当初の教育委員会の研修及び、夏季に学校司書および用務員研修を行った。各種健康診断は425名が受診した。
- (2) 学校事務共同実施連絡会議やブロック事務職員研修会を通じて、財務会計処理、備品管理システムの実務研修を行い、財務事務の円滑な執行に努めた。
- (3) 施設等の整備は、重富小学校校舎（25号棟）空調機設置工事、始良小学校校舎南面外壁改修工事、帖佐中学校他高圧受電設備等改修工事、帖佐中学校屋内運動場屋根防水工事等を行った。その他、緊急性を考慮しながら、小学校243件、中学校88件の修繕を行い、安心安全な学校施設維持に努めた。

## 2 学校教育課

学校教育課では、29年度に『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり』の三つを重点施策に掲げ、その充実に努めた。

『規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進』については、学校、家庭、地域が協同して児童生徒の道徳性をはぐくむ事業の展開を図った。また、各小中学校の生徒指導上の課題、特に不登校の問題については、学校の指導が機能するよう相談活動、家庭環境の改善のための人的配置、ネットワークづくり等を行い、児童生徒の学校・家庭生活の改善につながる事例も見られるようになった。

『能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進』については、学力向上に関する各種の事業の成果として、諸学力検査結果が多くの教科等で全国平均・県平均を上回った。26年度からの取組として、中山教育基金を利用した「スーパーサイエンス総合推進事業」においては、児童生徒の科学に対する興味関心を高める事業を展開・実施することができた。また、特別支援教育の充実に図る中で、適切な就学相談、授業での児童生徒支援、支援の在り方を話し合う協議会の実施ができた。さらに、キャリア教育の推進についても協議会を開催し、その充実に努めることができた。

『児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくりの推進』については、管理職等の研修会を開催し、学校経営についての改善充実に図ることができた。

また、小規模校・複式教育についても研修会を行い指導法の充実に努めた。

外部評価委員の12項目評価点は平均4.6点

### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 「モラリティ・インクルージメント推進事業」で、山田小学校が実践発表を行い、保護者や地域の方々が多く参加し、道徳教育について、学校・家庭・地域の三者協働による推進が図られた。同様の趣旨で、小中高等学校生のスピーチコンテストを含む「ハートフルアイランド」という市民向けの行事を開催した。また、地域で育む道徳教育の一助として、椋鳩十文学を活用した始良市道徳教育教材集「生きるってすばらしい」を作成するとともに、小学生の家庭用として「始良市みんなのカレンダー」を配布し、好評価を得た。
- (2) 「スクール・カウンセラー配置事業」や「スクール・ソーシャル・ワーカー実践研究事業」等の活用により、不登校等の問題に対して学校と家庭・関係機関との連携が密にとられ、ケース会議等を通じ組織的な対応をするなどの細かな対応が充実してきた。保護者に対する相談活動や学校になじめない生徒のための一時的な居場所づくりも進み、多面的な支援が充実してきている。
- (3) 教職員向けの各種研修会では、「教職員の指導力を向上させることで学力向上を



- 図る」という基本的な考えに基づき、多様な研修会を実施できた。研修の成果として、児童生徒の学力については、一定の成果が出ている。
- (4) 「スーパーサイエンス総合推進事業」では、リーダー養成などを意図した講座の展開や東京科学施設の視察、科学への興味・関心を高めるイベントである「サイエンスあいらんど」等の観察実験、講演といった実践的な活動をとおして、市内の児童生徒の科学的な見方・考え方を育てることができた。
  - (5) 特別支援教育の充実として、特別な支援の必要のある児童生徒のいる小・中学校に特別支援教育支援員42名を配置し、研修会を開催することにより、適切な介助や学習支援等を行うことができた。また、市特別支援連携協議会により、各関係機関と連携を図り特別支援教育の充実が図れた。
  - (6) 校長研修会では、教職員の資質向上や、地域とともにある学校づくりをテーマに、教頭研修会では、授業指導力の向上をテーマに実施し、学校の課題解決への取り組みや学校経営の充実に生かすことができた。

### 3 社会教育課

「あいら未来特使団」「AIRAふるさと学寮」「AIRAふるさとチャレンジャー」などの事業により、普段の生活では体験できない多様で価値ある体験活動をとおして、青少年の自主性や協調性、社会性などを培う機会を提供することができた。

家庭教育の推進については、ラジオ番組の作成や家庭教育フェスティバルの開催、子育て手帳の活用啓発などを進め、地域全体で家庭教育を支援するための体制づくりを進めた。

また、現代的な課題を考慮して趣向を凝らした講座の開催により、女性学級（あやめ学級）や高齢者学級（ゆずり葉学級）を実施した。

社会教育施設や公民館施設においては、自主講座・公民館講座の内容充実が図られるなど、良好かつ幅広く生涯学習を推進できた。

生涯学習フェアにおいては、公民館講座の学習成果発表や市主催による生涯学習事業の紹介、基調講演などを実施し、多くの市民の方々に成果の発表ができた。

芸術文化活動の振興では、児童生徒に本物の芸術を鑑賞できる機会を設けるとともに、始良10号美術展などの開催や各種団体の育成に努めた。

また、郷土愛の醸成や地域活性化を図るため、郷土芸能の継承など後継者育成に努めるとともに、埋蔵文化財の保存と開発の調整を図る必要がある。更に、文化財の保存活用のため、郷土の歴史と伝統を後世に伝え残す事業に取り組む必要がある。

外部評価委員の12項目評価点は平均4.7点

#### □各事業の主な成果と課題

- (1) 生涯学習リーダー研修会に積極的に参加を促し、スキルアップや資質向上が図

られた。今後は、人材育成に努めるとともに、家庭教育力の向上や有効的な人材活用の場の設定に努める必要がある。

- (2) 「あいら未来特使団」「A I R Aふるさと学寮」「A I R Aふるさとチャレンジャー」等青少年育成事業が充実し、成果が上がった。また、女性のためのあやめ学級や高齢者のためのゆずり葉学級などもそれぞれテーマを持って開設しており、十分な成果を上げることができた。
- (3) スクールサポートボランティアコーディネーター（S S V C）事業においては、全小学校区にサブコーディネーターを、全中学校区にコーディネーターを配置し、また、家庭教育サポーターを5人配置して展開することができた。今後も、学校や地域と連携して事業の充実を図りたい。
- (4) 社会教育施設（椋鳩十文学記念館、北山野外研修センター、スターランドA I R A、蒲生ふるさと交流館、龍門陶芸・健康の里）や公民館施設（始良公民館、蒲生公民館、地区・校区公民館）では、施設・設備の維持保全に努めながら、充実した施設の運営が図られた。今後も利用者に対して、環境整備とともに職員の待遇を充実させ、きめ細やかなサービスに努めたい。
- (5) 児童生徒に対する芸術鑑賞機会の提供、文化協会や市立少年少女合唱団の育成、市文化芸術祭や始良10号美術展の開催など、芸術文化活動の振興・充実を図ることができた。
- (6) 文化財の保護と活用については、蒲生のクス保護増殖事業、島津家墓地の国指定史跡化に向けた実測・測量業務などを実施した。また、学校等では出前講座や史跡めぐりの実施、歴史民俗資料館や加治木郷土館では企画展や歴史講座を実施するなど、活用に努めた。郷土芸能の保存・育成では、郷土芸能保存団体17団体に補助金を交付し、後継者育成と保存活動支援を実施した。

#### 4 図書館事務局

『図書館のサービス業務と読書活動の充実』については、各種事業を開催することにより、子どもから大人まで多くの市民が図書館に来館し、事業を通じて身近に感じることで、図書館の利用促進を図るとともに、読み聞かせ等の読書活動の推進を図った。

『始良市立図書館ネットワークの充実』については、県立図書館、県内の公立図書館及び大学図書館等のインターネットによる蔵書検索を行い、貸出の充実や公立図書館相互貸借の推進を図った。

外部評価委員の4項目評価点は平均4.6点

#### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 図書館利用の促進では、図書資料の貸出を一人当たり5冊から8冊に増冊したことにより、貸出冊数を増やすことができた。しかし、入館者数、貸出人数ともに減少傾向にあることから、開館日数等の拡大などの検討を行い、



平成30年度から全ての祝日を開館することとした。

- (2) 図書館の広域利用の促進では、かごしま連携中枢都市圏広域利用開始により、鹿児島市、日置市、いちき串木野市、始良市にお住まいの方は、圏域内すべての図書館（室）を利用することができるようになり、利用者へのサービス向上を図ることができた。

## 5 保健体育課

『生涯スポーツの推進』については、市スポーツ推進委員の活動の充実を図るとともに、市民の健康意識や仲間づくりを目的に各種のスポーツ・レクリエーション大会を実施した。

『競技スポーツの推進』については、市内の社会体育施設の管理に民間のノウハウを取り入れることで、サービスを充実させ利用者の増を図るとともに、全国大会等へ出場する個人や団体に奨励金を交付し、競技力の向上に支援を行った。

『国体に向けての体制作り』では、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」始良市実行委員会設立総会及び第1回総会を開催し、大会に向けての組織体制を構築した。

『体力・運動能力の向上』については、体育主任研修会等を開催し授業力の向上と学校間の連携を図りながら、運動好きな子どもの育成と体力向上を図る授業の推進や、教科外体育の取組みとして、全ての小中学校で、体力・運動能力調査や「体力アップ！チャレンジかごしま」を実施した。

『健康教育の充実』については、学校保健安全法に基づき、児童生徒及び教職員の健診や、就学児検診を実施し、疾病対策に取り組んだ。また、登下校時の安全対策についても、関係機関との連携により、課題の解決と共有を図った。

『食育の推進』については、栄養教諭や調理員のスキルアップのための研修会等の開催や、調理業務に関する備品や環境の整備を行い、安心して安全な給食の提供を図った。

外部評価委員の11項目評価点は平均4.5点

### □ 各事業の主な成果と課題

- (1) 各種スポーツ・レクリエーション大会については、市スポーツ推進委員や関係団体等の協力を得て、計画通りに事業を実施することができた。今後は、「ニュースポーツ」の普及について研究を進め、生涯スポーツの裾野を拡大したい。  
2020年の国体・障害者スポーツ大会については、関係機関の協力を得ながら、準備を進めるとともに、開催に向けて機運の醸成にも取り組みたい。
- (2) 「体力アップ！チャレンジかごしま」の取組みでは、始良小・加治木中が県の学校賞を受賞し、体力テストでは、児童生徒の体力・運動能力の向上が見られる。

一方で、積極的に運動する子どもとそうでない子どもとの二極化の傾向も見られることから、「一校一運動」や外遊びの奨励など、運動に興味を持つ子どもを育成するための取組みの充実を図りたい。

また、児童生徒の安全の確保については、地域安全ボランティアやスクールガードリーダー等と十分な連携を図り、学校安全体制の一層の充実が図られた。

- (3) 学校給食については、食中毒や異物混入等が発生しないよう調理従事員・納入業者等を対象に学校給食衛生管理研修会の実施や栄養教諭等による食に関する指導等を行い、安心・安全な学校給食に努めた。さらに、食に関する指導の推進では、「心を育む食育講演会」を開催し、家庭における食育の推進と地場産物の活用による食育の推進に努めた。

### Ⅲ 教育委員の平成 29 年度点検評価・意見・要望等

#### 教育総務課関係

##### (教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会・臨時会は、適切な時期に実施されている（同コメント 3 件）。
- ② 案件については、様々な質疑がなされた上で議決された。
- ③ 事務局担当より議案等について分かりやすい説明がなされ、質問や意見もあり、十分に審議されている（同コメント 2 件）。
- ④ 資料は 3 日前までに配付されており、事前に検討することができた。また、必要に応じて連絡もあり、問題なく出会えた（同コメント 3 件）
- ⑤ 質問や意見が出され、十分に審議されている。
- ⑥ 県外研修では、本市の課題や問題点解決の策をさぐるため、先進地研修を行い、とても役に立っている。
- ⑦ すべての研修会に参加させていただき、知らない事を知る機会になり、県外研修においては大分県豊後高田市・日田市の学校・地域・行政・家庭が一体となって、連携した取組みを学ぶことができた。
- ⑧ 研修会に参加し、自己の資質向上になった。
- ⑨ 学校訪問や諸行事に出席することにより、本市の教育の現状が直接に分かる。これからも積極的に参加したい。
- ⑩ 学校訪問や諸行事には毎回参加した。
- ⑪ 毎回、積極的に参加している。学校訪問では学校や職員・子どもたちの様子を知ることができた。
- ⑫ 職員研修も計画的に行われ、資質向上に向けた取組みがなされている。
- ⑬ 職員の健康は第一だと思うので、しっかりと健康診断を受け、健康管理に努めてほしい。
- ⑭ 職員の資質向上に向けた取組みがよくなされている。職員の健康管理、健康チェックがしっかりなされている。

##### (適正な財務事務の推進、良好な教育環境整備の推進)

- ① 学校事務職員の研修も実施され、適正な予算執行が図られている。
- ② 各学校の施設整備に関して、修繕が必要と思われる所を点検・確認し、迅速に対応がなされている。
- ③ 学校訪問時に感じるが、梅雨時期から夏場に向けて学校の各教室においてかなりの暑さを感じる。熱中症対策を考えると空調設備の必要性を感じる。
- ④ 各学校の老朽化が進む中、計画的に整備・改修されている。



## 学校教育課関係

### (規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進)

- ① モラリティ・インクルージメント事業では、授業による実践発表・意見交換会等に保護者・地域、各学校の先生方、他の地域の方々とたくさんの方々が参加されて、すばらしい取り組みだった。
- ② 実践協力指定校では、地域と共に子どもの道徳性を育てる取り組みをしていた。今後も継続していくと共に、さらなる広がりを目指したい。
- ③ ハートフルあいらんどでは「ことばのいずみコンクール」で小・中・高生によるそれぞれのスピーチに涙し、感動した。もっとたくさんの方々に足を運んでもらい、聞いてほしいと思った。
- ④ モラリティ・インクルージメント事業の発表会では、三者によるグループでの意見交換会など、とても良かった。今後も継続していただきたい。
- ⑤ 不登校は本市でも大きな課題のひとつであり、様々な事業を行っている。成果が上がるように更なる取り組みが必要である。
- ⑥ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを学校に配置していただき、不登校児童・生徒に対する対応や家庭環境における問題等の改善に向け、学校と一体となり、家庭と連携をはかりながら取り組んでいると思う。配慮や支援が必要な児童生徒がいる限り、取り組みを続けてほしい。
- ⑦ 不登校児童・生徒への対応については評価できる。今後は増やさない取り組みもお願いしたい。
- ⑧ 市内の全小・中学校が参加し、音楽の発表と交流をすることができた。
- ⑨ 人権教育や体験活動は、心の成長や社会性を身につけるためにも必要なことなので続けてほしい。
- ⑩ 音楽発表会は学校の特色を生かし、すばらしい発表だった。発表する側と聞く側の態度も身につく場なので、続けてほしい。
- ⑪ 小・中学校音楽会には毎年参加させてもらっているが、それぞれの学校の特色を活かした音楽発表の場となっている。また、音楽会での社会も身に付けられる場となっている。
- ⑫ 幼・保・小連携によって子どもの実態を知ることにより、小学校へ上がる時の不安や必要な支援にしっかりと対応できるように研修会等を実施し、お互いの交流を深めながら対応してほしい。
- ⑬ 幼・保・小連携により、お互いの交流を深め、小学校への円滑な接続を図るため、今後も研修会を実施してほしい。

### (能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進)

- ① 学校訪問時に、どの学校でも説明を受けており、小・中合同で真摯に取り組んでいることがよく分かる。

- ② 小中連携の取組みは、合同研修会や相互授業参観を通しての情報交換・中学校の先生による小学校での授業などが行われ、連携が図られてきている。これからもさらに連携を密に図ってほしい。
- ③ ブロックごとの小中連携の取組みは、とても評価できる。
- ④ 学力向上についての取組みは、各学校・教育委員会ともに連携を取って行っており、評価できる。
- ⑤ サイエンスあいらんどではロボット工学者石黒浩先生によるサイエンストークや体験型実験教室(20ブース)があり、たくさんの親子が参加し、講話を聞き、体験していたので、科学のを知る良い機会だと思う。これからも続けてほしい。理数定着支援員の配置について児童・生徒たちの学力向上のために必要な取組みだと感じる。
- ⑥ サイエンスあいらんどには、幼児から大人までたくさんの方々が参加されていて大盛況だった。各ブースでも子どもたちの興味・関心の高さが伺えた。毎年楽しみにしているという親子の声をよく耳にした。今後も続けてほしい。
- ⑦ 特別な支援が必要な子どもが増えている。まわりの子どもたちの理解が必要であるので、配慮をお願いしたい。
- ⑧ 年々特別な支援を要する子どもが増えていて、支援員の必要性をととも感じる。安全面、学習支援、身の回りの支援など細かい対応を学校全職員が共通理解を図り、保護者と連携をとりながら取り組んでいってほしい。
- ⑨ 支援員の人数確保も難しい現状ではあるが、支援を要する子どもたちの現状を見て、配置人数を増やしてほしい学校もあると思う。
- ⑩ 就学相談会を始め、保護者がもっと日常的に悩みや進路等について気軽に相談できる場が必要かと思う。
- ⑪ ICT機器は多くの学校で活用されていたが、さらに有効な活用を期待したい。
- ⑫ 支援を要する児童・生徒が増加しているので、より効果的に支援員を活用することが必要である。
- ⑬ キャリア教育に賛同して協力していただける事業所が年々増えている。それだけキャリア教育への理解が深まっていることと思う。
- ⑭ 小学生の職場見学や中学生の職場定見においてたくさんの方々のことを学び、将来を考えると良い機会になると思うので、感謝しつつ続けてほしい。
- ⑮ 中学生の職場体験学習では、とても良い経験ができていると思う。ご協力いただいている事業者の方々にも感謝である。



(児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり)

- ① 地域の良さをすることで郷土愛を育み、体験活動を通して奉仕の心を学ぶ良い取り組みだと思ふ。
- ② グランドデザインにより校長が考える学校経営の具体が分かり、特色も把握しやすい。
- ③ 各学校で特色ある取り組みを取り入れたグランドデザインの計画がなされ、学校経営の充実が図られている。
- ④ 学校訪問により学校の状況を直接見ることができる。学校の課題などについても、その改善策等、直接話し合うことができる。
- ⑤ 幼稚園、小・中学校を学校訪問して、園や学校の様子、子どもたちの様子を知り、良い点・改善点について指導と情報交換ができています。
- ⑥ 複式学級では「学習の仕方」を子どもたちがしっかり見につけた上で授業に取り組んでおり、理解度も高いと思われる。
- ⑦ 現在人口が増えている始良市には、小規模校5校のうち4校が特認校制度で市内から通学が可能である。どの学校も特色を生かし、体験を通じた行事がある素敵な学校なので、たくさんの人に知ってもらい、特認生が増える取り組みの周知を図ってほしい。

社会教育課関係

(社会教育の基盤づくり)

- ① 社会教育関係団体がたくさんある中、しっかり連携して研修会や指導者の資質向上が図られている。
- ② 今後も生涯学習等、市民が必要とする情報の提供に努めてほしい。

(青少年教育の充実)

- ① 本市の事業だけでなく、支援している子ども会などの団体の活動も合わせると、とても多くの青少年育成活動がなされている。これらの活動を通して、子どもたちが大きく成長してくれることを期待している。
- ② 小・中・高生たちがチャレンジできる事業がたくさんあり、体験を通して自主性や協調性、社会性などいろいろなことを学べていて、活動報告等でしっかりと発表している姿を見ると、成長を感じることができる。
- ③ 青少年教育に関する事業や子ども会等で参加人数を増やすための啓発の工夫が必要。
- ④ 小・中・高生たちがチャレンジできる事業がたくさん企画されており、評価できる。今後も続けてほしい。



#### (家庭教育・成人教育の充実)

- ① 「地域で育む家庭教育推進事業」「家庭教育学級」「子育て手帳」「子育て条例」など本市では家庭教育にも力を入れている。一年で完結するものではない。長い目で見て、その効果を期待したい。
- ② あやめ学級、ゆずり葉学級ではたくさんの方が生き生きと活動し、仲間と楽しく学んでいて良い取組みなので続けてもらいたい。
- ③ 家庭教育学級は同学年以外の保護者と知り合い、語り合え、学べる良い場なので、たくさんの方の保護者に参加してほしいと思っているが、知ってもらうための啓発の工夫が大事かと思う。

#### (芸術文化活動の推進)

- ① 青少年劇場、芸術鑑賞については、芸術に触れる良い機会であり、良い取組みだと思う。
- ② 市立少年少女合唱団の定期演奏会を拝見したが、とても歌声がすばらしかった。団員の中に男子が少ないので、広報に努めてほしい。
- ③ 市文化協会に加盟している団体も多いので、発表する場として文化祭が開催されることは活動している人たちにとって良い発表の場であり、発表を見る側も楽しみにしていると思うので続けてほしい。
- ④ 子ども達が芸術に直接ふれることのできる機会を与えていて、評価できる。今後も続けてほしい。
- ⑤ 市立少年少女合唱団の定期演奏会を毎年拝見しているが、団員の歌声がとてもすばらしく、今後も楽しみである。

#### (生涯学習の推進)

- ① 講演の内容にうなずかれています方が多かったようだ。
- ② 生涯学習フェアで古賀稔彦氏の講演会があり、たくさんの方が来場され、貴重なお話と一緒に記念撮影の体験もできて、みんなが喜んでいたので、とてもすばらしい企画だったと思う。

#### (社会教育施設の充実と利用促進)

- ① 各施設ごとに様々な活動がなされ、青少年をはじめ、多くの市民が参加している。今後とも工夫を凝らし、参加者を増やしてほしい。
- ② 各施設でいろいろな活動にたくさんの方が利用され、昨年より利用者数が増加していた。広報、PR活動の成果もあると思うので、引き続き行っていただきたい。

#### (公民館事業の充実)

- ① 公民館講座の参加者や公民館の利用者が増加していることは良いことだと思う。気持ちよく利用したり、学べるよう対応していただきたい。

#### (公民館施設の充実)

- ① 利用する市民の皆さんのために、施設の維持や安全に利用できるよう環境整備を継続してほしい。

#### (指定文化財の保護・活用)

- ① 文化財マップ(加治木地区)は、大人も子どもも見て楽しみ、知って現地を訪れるなどの効果が期待できる。今後もいろいろ工夫してほしい。
- ② 文化財保護審議会を開催し、調査や保護に関する対応が適切に進められている。
- ③ 始良市誌史料については、時間のかかる編集作業をたくさんの方のご尽力によりすばらしい史料ができていた。大変な作業だと思うが、始良市のためにがんばってほしい。

#### (埋蔵文化財の保護・活用)

- ① 学校教材としての利用を進めて欲しい。

#### (郷土芸能の保存・育成)

- ① 加治木と蒲生の太鼓踊りは、地域の方々がとても楽しみにしている事業なので継続してもらいたい。

#### (施設の充実)

- ① 歴史民族資料館、加治木郷土館は、係員が丁寧に対応してくれたり、企画展もあったりして、いい運営をしている。
- ② さまざまな企画が実施され、市民や小・中学生が利用しているので、情報提供や学習への支援をお願いしたい。

#### 図書館事務局関係

##### (図書館のサービス業務と読書活動の充実)

- ① いつ行っても静かで、整然と整理され、落ち着いた雰囲気の中で気持ちよく過ごせます。
- ② 来館者数を増やすための更なる工夫を考えてほしい。
- ③ 図書館広域利用が始まり、利用者にとってはうれしいサービスだと思う。

もっとたくさんの方に知ってもらえれば利用者数は増えるのではないかと思うので、広報活動をお願いしたい。

- ④ 各活動が前年度より参加人数(利用者数)が減少しているのが気になるが、少しでもたくさんの方に知ってもらい、活動に参加してもらえるよう周知が必要だと思う。
- ⑤ 機材、教材の整理・整備が整えば利用拡大の充実を図ってほしい。

#### (始良市図書館ネットワークの充実)

- ① 図書館システムによるサービス機能の周知を図ってほしい。

### 保健体育課関係

#### (生涯スポーツの推進)

- ① 市民の健康づくりや生きがい作りのために、スポーツはとても大切である。これからも参加者を増やす努力を続けてほしい。
- ② 市レクリエーション協会交流会とニューエルダー元気塾という企画が計画され、実施されたことは評価できる。
- ③ あいらスポーツフェスティバル、義弘公奉賛武道(弓道・剣道)大会の参加者が増加したことは評価できる。
- ④ 参加者数の減少が見られた所は、周知活動をしてほしい。
- ⑤ スポーツ推進委員の資質向上と技術習得されたことを市民のスポーツ普及に役立ててほしい。定例会や各種研修など、教育委員会と連携をもって取り組んでいることは評価できる。

#### (競技スポーツの推進)

- ① 国体に向けての準備はこれからもまだ大変かと思うが、対応をしっかり進めて行ってほしい。
- ② 今回も野球部による合宿が実施され、地域の活性化につながっていると評価できる。
- ③ 年々、スポーツ少年団数や団員数が減少しているとのことだが、活動している限り支援や指導者研修は続けてほしい。

#### (体力・運動能力の向上)

- ① 記録会では県や全国大会でも通用する成績をおさめる子どももいて、レベルは高い。
- ② 体力・運動能力調査を実施し、学校ごとに毎年分析し、向上策も検討して取り組んでいることは評価できる。



- ③ 水泳記録会・陸上記録会において新記録やタイ記録が誕生したことは、日々の先生方の指導と積極的に練習に取り組んだ成果だと思う。
- ④ 部活動顧問研修会等で部活を頑張る子どもたちに対する言葉のかけ方・言葉に対する指導も行ってほしい。
- ⑤ 学校訪問で、体力テストの結果についての説明があり、苦手としている種目を向上させるための手立てを学校ごとに授業などで取り入れたり、チャレンジかごしまへの参加を推進したり、努力している。
- ⑥ 運動嫌いな子どもをなくし、体を動かす喜びを感じることができるよう指導してほしい。
- ⑦ 学校全体で取り組んでいる体力アップ！チャレンジかごしまにおいて、ベスト10にたくさんのクラスがランクインして県の学校賞を2校受賞したことはすばらしいと思う。

#### (健康教育の充実)

- ① 健康診断や就学児検診については、自覚症状がない場合気付かずに隠れ病を持っている可能性があるため、実施して疾病等が見つかり早い対応で治療ができることは良いことだと思う。アレルギー疾患対応も引き続きしっかり対応をお願いしたい。
- ② 始良市は、鉄道・国道・高速道路などが通り、便利な反面、交通事故の危険性も高い。また、山手に入ると人通りが少なくなる。地域全体で子どもの見守り活動の必要がある。
- ③ 始良っ子見守り隊に640名の登録があり、子どもたちの登下校の見守りに協力していただいていることに深く感謝したい。
- ④ スタントマンを活用した交通安全教室は、実際に再現した事故の様子を見て体感したことで注意喚起につながると思った。
- ⑤ 毎日、登下校を見守り、一人一人の子どもたちに声をかけ、子どもの様子について気にかけてくださっている始良っ子見守り隊の方々にとっても感謝している。

#### (食育の推進)

- ① 調理員のスキルアップ研修は、今後もしっかり続けてほしい。
- ② 心を育む「食育」については、家庭を巻き込んで推進して行ってほしい。
- ③ 衛生面、栄養面、アレルギーへの対応など、大変なことが多いが、今後も献立に工夫し、楽しくおいしい給食であり続けてほしい。
- ④ 子どもたちは、給食をととても楽しみにしていると思うので、衛生面・アレルギー対応・食中毒・栄養バランスのとれた献立作成・給食費問題等、運営上大変かと思うが、連携をもって取り組んでほしい。

- ⑤ 地域の食材を使用した郷土料理などバラエティー豊かな献立作成、食育だけでなく他教科の授業等にも活用できて非常によいと思う。今後も続けていただきたい。
- ⑥ 調理従業員の健康管理は第一だと思うが、夏場で空調整備のない調理場での作業が心配になる。早急な対応を望む。

(国体に向けての体制作り)

- ① H32年の国体に向けて「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会始良市実行委員会」が設立され、組織体制が整ったことは評価でき、今後が期待される。

## IV 外部評価委員の平成 29 年度点検評価・意見・要望等について

### 教育総務課関係

#### (教育委員会の活性化の推進)

- ① 定例会・臨時会とも適切な時期に開催されている。(同コメント 4 件)
- ② 今後の委員会の資質向上に向けて、大切な審議が委員の活発な質疑の末、議決・承認された事は高く評価したい。
- ③ 委員の質疑、意見交換がなされ、十分に審議されて議決されている。(同コメント 3 件)
- ④ 3 日前までに資料が配付され、事前に検討できるという事は時間の有効性とより深い審議に繋がる。委員と事務局の連携が上手く図られている。
- ⑤ 事前に資料が配付され、事前検討が行われ、説明に必要な資料の配付も行われている。(同コメント 3 件)
- ⑥ 課題となる本市の現状が、各研修を通して見えてくると思う。課題解決に向けて、研修で学ばれた事柄を積極的に研究し、活かしてほしい。
- ⑦ 研修視察先は、始良市の課題解決のための妥当地をこれからも選定してほしい。
- ⑧ 県外研修においては、大分県の市教委の学校・地域・家庭と行政が連携した取組みの様子を学ぶことで、本市の課題や問題点解決策を探るのに役立っている。
- ⑨ 各研修会において、本市の問題点や解決策の取組みを学ぶことはすばらしい研修会だと思う。
- ⑩ 研修された不登校生への対応、また、不登校生を出現させない為の取組みは、まだまだ気になるところである。
- ⑪ 学校訪問や各種行事に積極的に参加されている委員の姿が伺える。各学校・各行事の良い点・問題となる点に着目し、今後活かしていただきたい。
- ⑫ 学校訪問の意義を学校職員へ管理職からも伝えていくべきだと思う。
- ⑬ 学校訪問では、積極的な意見交換や質疑が行われ、学校の意識改革にもつながっている。
- ⑭ 特に学校訪問は大事だと思う。学校の様子や子どもたちの様子がよく分かる。先生方との意見交換もすばらしい。
- ⑮ 計画的に各種研修が適切に行われている。職員の更なる資質向上が期待される。(同コメント 3 件)
- ⑯ 職員の健康管理、ストレスチェック等しっかりと行われている。更に事前のストレスチェックにより予防的対応を充実させてほしい。(同コメント 3 件)
- ⑰ 学校での市職の研修は、とても必要だと感じる。研修があったとのこと、これからも充実してほしい。



- ⑫ 学校訪問では、環境整備に携わる者へも妥当な評価をお願いしたい。

(適正な財務事務の推進、良好な教育環境整備の推進)

- ① 複数回の事務研修を行うことで、効率的な運営、適正な予算執行が行われている。(同コメント3件)
- ② 適正な時期において備品の入れ替えを行っている。
- ③ 学校備品の使用についても学校備品監査で話題にし、充実した備品購入に努めてほしい。
- ④ 適宜、期限の切れたAEDや古いパソコンについては、更新や入れ替えをお願いしたい。
- ⑤ 児童生徒が安心して、そして学習に集中できる環境作りに努めていただきたい。
- ⑥ 熱中症対策を考え、職員室と各教室への空調設備設置を進めてほしい。(同コメント2件)
- ⑦ 整備、修繕についても適宜行われている。
- ⑧ 地震による壁の倒壊で小学生が亡くなったことを受け、ブロック塀の早急の対応はありがたかった。
- ⑨ 各学校老朽化が進む中、児童生徒の安心・安全のために計画的に整備・改修が進められている。
- ⑩ 学校施設の整備には多額の費用がかかると思う。予算がある限り安心安全な学校整備に取り組んでいただきたい。

学校教育課関係

(規範意識を養い豊かな心と健やかな体をはぐくむ教育の推進)

- ① 早い時期からモラリティ・インクルーブメント事業に取り組んでこられ、良い結果も生み出してきている事と思う。人間形成における最も大切な根底の部分に値する道徳教育に、これからも本市の独自色を織り込んだ現在の取組みに更に期待したい。
- ② 情操教育を始良市教育の中核にしていることは、とても素晴らしいと思う。家庭や地域との連携は、とても大切だと思うので、これからもぜひ力を入れてほしい。
- ③ 「みんなのカレンダー」は公民館に1冊ずつ配付してあるが、「生きるってすばらしい」も配付してほしい。校区民が公民館に来たときに、手に取ることができる。
- ④ 椋鳩十文学を活用した始良市道徳教育教材集やみんなのカレンダーなどの独自の教材を作成され、地域と共に子どもの道徳性を育てる

取組みがなされている。

- ⑤ 「ことばのいずみコンクール」では、小・中・高生によるそれぞれのスピーチがあり、子どもたちの豊かな情操を育むための取組みがなされていると感じた。
- ⑥ モラリティ・インクルーブメント推進事業においても、保護者や地域の方の参加による授業参観、あいさつ運動など地域との連携が充実した取組みである。今後も継続していただきたい。
- ⑦ 教科「道徳」の評価についての検討等、進められていることと思います。子どもの豊かな情操につながるものになればと思います。
- ⑧ 学校・家庭・地域の三者が協力して推進できることが望ましい。
- ⑨ モラリティ・インクルーブメント事業において、過去の発表校のその後が気になる。学校の取組みより、地域の取組みは目的に合った取組みがされているのか。
- ⑩ 子どもの抱える様々な悩みの背景に心を至し、そして支援する取組みが本市では多方面から行われている。取り組み続けた結果も少しずつ出てきているようである。今後も連携を密に行い、きめ細やかな支援をお願いしたい。
- ⑪ 適応指導教育や学校との連携で、学校への復帰ができた不登校児童・生徒が12名いたとのこと。先生方の努力を評価する。長期継続的な取組みをこれからも期待したい。
- ⑫ スクールカウンセラーの配置により300件を超える相談もあり、不登校児童・生徒の問題は大きな課題である。
- ⑬ 学校と家庭を繋ぐスクールソーシャルワーカーが3人配置され、150回を超える対応をされたとのこと、生活の改善につながる事例も見られている。
- ⑭ 適応指導教室の始良教室では10人が復帰し、加治木教室では2人が復帰したとのこと、学校復帰につながっている。
- ⑮ 不登校児童生徒のために指導教室を2か所設置され、学校復帰に向けた支援がなされており、大変望ましい支援だと思う。
- ⑯ 人権教育は、幼少期より行われなければならない大切な学びの場である。計画の内容や実行、取組みの充実度について、しっかりと精査していただきたい。
- ⑰ 小・中合同音楽会や各種コンクールへの応募状況、集団宿泊学習等、成果も年々上がりつつあるようだ。子どもの成長を直に感じる事のできる事業である。
- ⑱ 小規模校児童にとっては、合同音楽会や陸上記録会、宿泊学習等で他校の児童と交流することは、大変貴重な経験となる。次の学校への入学がスムーズに行われ、学校生活が送れる。
- ⑲ 実態調査や学校訪問等で、各学校の全体計画状況等の把握がなされている。



- 人権教育はすべての教育の基本であるため、継続的な取組みをお願いしたい。
- ⑳ 合同音楽会は、各学校の特色が生かされ、すばらしい発表となっている。発表する側と聞く側の態度も身につく場であるので、今後も続けてほしい。
  - ㉑ 人権教育に係る研修に、教職員の参加を計画的に進められたことはすばらしい。
  - ㉒ 集団宿泊学習は、児童・生徒にとって良い社会勉強になると思う。
  - ㉓ 園長研修会、教諭等研修会が適切に行われている。
  - ㉔ 幼・保・小連携研修会により、子どもたちのスムーズな入学、そして受入体制の方策も整えることができる必要不可欠な会である。
  - ㉕ 小学校への円滑な接続のため、教員同士が実際に会う情報交換も必要かと思う。(実施されているかもしれないが。)
  - ㉖ 幼・保・小学校の連携により、それぞれの子どもたちの実態を知ることにより、小学校への円滑な接続を図れるように今後も研修会等の充実をお願いしたい。
  - ㉗ 幼・保・小連携研修会が実施され、協議が深められており、評価したい。
  - ㉘ モラリティ・インブループメント推進事業において、過去の発表校のその後が気になる場所である。学校の取組みより地域の取組みは、目的に合った取組みがされているのか。

(能力を伸ばし、社会で自立する力をはぐくむ教育の推進)

- ① 相互授業参観や情報交換、参観授業を通して小中連携が密に行われている。今後も学力向上に向けて各研修会へ参加し、研鑽を深めてほしい。
- ② 全国学力、鹿児島学習定着度調査の結果の良さは素晴らしい。始良市内の学校は、落ち着いていることをよく耳にする。いろいろな取組みが功を奏しているのだと思う。
- ③ 教育講演会や指導力向上セミナーに多くの参加があり、授業改善に向けた研修が深まった。
- ④ 研究指定校による研究の推進や各学校の学力向上に関する取組みの情報交換により学力向上につながった。
- ⑤ 各学校や教育委員会がよく連携し、学力向上に向けた取組みをされており、全国を上回る結果につながっている。(同コメント2件)
- ⑥ 理数・外国語教育推進事業として、各々、各方面から適切な研修を行っている。
- ⑦ 「サイエンスあいらんど」とネーミングからも興味を沸き立たせ、またその内容にも多くの子どもたちが集まり、そして体験していただく事で、理数に関する興味・関心が更に高まったのではと感じる。
- ⑧ 自らの応募により、20のブースを受け持たれた市内の教職員の方々の



「子どもたちのために」という意識の高さに敬服いたしました。

- ⑨ 外国語教育の学校での現状等を市民にもう少し周知する必要を感じる。どのようなことをしているのか、生徒の現状などを市報等にも載せてほしい。
- ⑩ スーパーサイエンス総合推進事業は、これからもぜひ継続してほしい。  
(参加した先生からも大盛況の様子をよく聞いていた。)
- ⑪ 理数定着支援員3名を小学校5校に配置されるなど理数の学力定着を図る取組みが充実され、成果につながっている。
- ⑫ サイエンスあいらんどでは、大阪大学の石黒浩教授のサイエンストークや20ブースの楽しい実験教室を実施され、子どもたちの興味・関心を引く貴重な事業になっている。
- ⑬ 新学習指導要領に対応した英語活動協力員の派遣により、小学校外国語活動の充実が図られている。
- ⑭ 理数・外国語教育推進事業は、今後も引き続き取組みが必要だと思う。
- ⑮ 特別支援を要する児童生徒が増えるなか、支援員のスキルアップの為の研修会の必要性も非常に感じる。
- ⑯ 適切な支援員の配置を担当等との連携により、学習支援や安全の確保が効率的に行われた。
- ⑰ ICT機器を活用した授業が行われたようであるが、普段の授業ではどの程度の活用がなされているのだろうか。
- ⑱ 支援教室もでき、楽しく学習していると聞く。周りの児童、保護者の理解も得られている。個に応じた指導の大切さを感じる。
- ⑲ 市内小中学校に47名の支援員が配置され、小学校112名、中学校56名の支援が進められている。今後も更に充実した配慮をお願いしたい。
- ⑳ 支援員対象の研修会により児童生徒の学習支援が効果的に行われたことは評価する。
- ㉑ 今後も支援員を対象にした研修会を開催していただき、効果的な支援の進め方や学級担任等との連携のあり方について理解を深めてもらい、充実した支援を継続してほしい。
- ㉒ ICT活用では、視覚的に補うものなど個々の児童・生徒に合ったソフトの開発を進めていただきたい。
- ㉓ 特別な支援を要する子どもたちは増えてきており、周りの子どもたちへの対応、保護者との連携、職員間の連携など、引き続き行ってほしい。
- ㉔ 「あいらキャリアサポートバンク」により協力事業所が昨年より更に増え、子どもたちがいろいろな職種の中から選択し、体験させていただくことは、将来に向けての貴重な一歩となる。ぜひ続けていただきたい。
- ㉕ 高校を卒業しても就職せずにいる若者がいる。これまでの学校教育(小・中・高)で、一人の子どもにどれだけの税金が使われたのかを考えると、

「恩返しの意味の働くこと」についてもキャリア教育で指導していくべきではないかと思う。

- ②⑥ 小学生からの職場見学は、とてもいいことだと思う。広めていってほしい。
- ②⑦ 事業所リストの作成により、現場体験学習や職場見学に向けた環境が整えられている。
- ②⑧ キャリア教育のための啓発リーフレットの配布もされ、小学校の職場見学や出前授業など、中学校でも様々な取組みがなされている。
- ②⑨ 中学校の職場体験学習には多くの事業所が協力していただき、有難い。

#### (児童生徒や保護者、地域に信頼される学校づくり)

- ① 自分が育った地域の素晴らしさに気付く良い機会である。併せて、社会貢献・奉仕の心が自発的に芽生える第一歩となることを期待する。
- ② 土曜日に校区と子どもたちと一緒に活動を行うことが多いが、スポーツ少年団のため欠席する子どもが多い。土曜日休日になったころ、土曜日はスポーツ少年団やクラブ等をしなないとのことだった。子どもが地域行事に参加できる環境作りは大切だと思う。
- ③ 補助金を活用し、各学校は学校の特色を生かしながら、環境教育や伝統芸能継承などに関連づけた活動に取り組み、郷土愛をはぐくんでいる。
- ④ 様々な体験活動を通して、奉仕の精神を培ってほしい。
- ⑤ 各学校でも地域の良さを生かした総合的な学習が行われている。今後も継続していただきたい。
- ⑥ 学校経営の基本となるグランドデザインを元に、各学校の充実した経営が図られている。
- ⑦ 学校の自己評価や学校関係者評価委員会の評価や意見等も適切に学校経営に生かされている。(同コメント2件)
- ⑧ 始良市勤務が初めての校長ヒアリングは必要で、ありがたいと思う。
- ⑨ 学校訪問や管理職研修会での指導及び評価により、グランドデザインの計画が明確になり、計画的・総合的な学校経営が推進されている。
- ⑩ 学校評議員会や学校関係者評価委員会により各学校の特色あるグランドデザインの改善が図られている。
- ⑪ 管理職や教職員を対象とした研修会に参加し、自己の資質向上に向けて努力されている姿が伺える。
- ⑫ 直接現場を訪問することによって、見えてくる課題に対して適切な指導・助言を行っている。
- ⑬ 管理職研修会は、内容がとても充実していると思う。
- ⑭ 校長・教頭研修会の中で、講話、協議、演習などを通じ、職責感や学校経営への意欲が高められている。



- ⑮ 学校訪問により、児童生徒の様子、職員の動きを授業参観等を通して、実態に応じた指導助言が行われている。
- ⑯ 管理職の研修会、講話、協議、演習などで学校経営への意欲を増やすことが大事である。
- ⑰ 小規模校ならではの良さを身近に直接聞く機会を設けられないか。(例えば幼保や小学校のPTA時に直接、話や体験談を聞く等の)
- ⑱ 特認校制度は、地域の活力衰退の歯止めの役割も担っており、前年度から7名増は高く評価できる。
- ⑲ 集合・交流学习は、中学校へ進学した際の気持ちの萎縮を和らげる効果も同え、大切な取り組みである。
- ㉑ 複式学習指導は、教師にとっても児童にとってもプラス面が大きい。(教師の指導力向上、児童の自力解決等) 集合学習もこれからも児童のために続けてほしい。
- ㉒ 小規模校においては、複式学級指導法研修会を通じ、少人数のよさを生かした特色ある教育活動が展開されている。
- ㉓ H29年度は78名が特認校に通学しており、特色ある取り組みや行事を更に広報され、特認生が増える取り組みを続けてほしい。
- ㉔ 小規模校特認校制度は小規模校には有難い。どの学校も特色ある学校を目指して、より多くの児童が入校される事を望む。

## 社会教育課関係

### (社会教育の基盤づくり)

- ① 社会教育委員の会では委員がそれぞれの立場で活発に意見が出されており、事務局もそれを丁寧に取りまとめ、発表に繋がっている。
- ② 市民への身近な窓口であるホームページの更新は時期を逸さず情報提供に努めていただきたい。
- ③ 会議が多く、すべての会議には参加できない。年度当初に分かっている会だけでも提示していたら、出席者も増えるのではないか。
- ④ 広報活動において、ホームページを定期的に見て、楽しみにしている人もいると思う。更新に努めてほしい。
- ⑤ 連絡協議会での実践発表や各種研修会を通じ、関係職員の資質向上が図られている。
- ⑥ 市報あいらの活用により広報活動も充実しているが、定期的にホームページで更新されるなど、新しい情報提供も今後充実させてほしい。
- ⑦ 社会教育関係団体との連携においても補助金交付や指導、助言等の育成支援が充実している。



- ⑧ 指導者研修会やリーダー研修会に多くの参加をいただき、資質の向上が図られている。

#### (青少年教育の充実)

- ① 本市では様々な青少年教育の充実が図られており、それぞれが行政主導型によるものばかりではなく、参加者が主体的に活動する様が伺え、頼もしく感じる。
- ② 市の子ども会が存在する意味をPTA等を通して保護者に直接説明する機会を持たないか。
- ③ いろいろな事業を設定していただいている。子どもたちも事業への参加を楽しみにしていることと思う。継続してほしい。
- ④ 小中高校生がチャレンジできる多くの青少年育成事業があり、個々の資質向上やリーダー育成につなげる取組みが充実している。今後もぜひ続けてほしい。
- ⑤ 市内中高校生 28 人が、ジュニア・リーダークラブどんでん組でボランティア参加をしているが、更に地域の活性化に向けて広報活動を充実させてほしい。
- ⑥ 少人数の子ども会が多く見られる。合併して活動しやすい子ども会を推進していただきたい。
- ⑦ S S V C 事業の不透明さ (① S S V C の方々が役割を理解されているのか。② 学校にとって役立っているのか。③ 地域との連携が取れているか。④ S S V C の研修を行うべきではないか。)

#### (家庭教育・成人教育の充実)

- ① 家庭教育学級の開催頻度は各学校・園共に規定の回数を行っていると思うが、参加者数の増が課題の所もある。固いイメージから脱却できると良い。
- ② 子育て手帳については、配付後の実際の活用が課題である。
- ③ 女性学級・高齢者学級は、年間いろいろな内容で開催されており、参加されていらっしゃる方々にも元気を感じる。同年代で集える場は、どの年代にも必要である。
- ④ 子どもの成長には家庭教育が最も大きな影響がある。「子育て手帳」活用はどのくらいだろうか。調査してみるのも良いのではないだろうか。
- ⑤ 始良市でも外国人が増えてきているように聞く。人権教育では、外国人の話題についても扱ってほしい。
- ⑥ 家庭教育フェスティバルの開催や幼・小・中の 26 家庭教育学級の開設、子育て手帳の配布など、地域と連携した家庭教育が工夫されている。長期的スパンで続けてほしい。
- ⑦ あやめ学級が 3 学級、ゆずり葉学級が 6 学級開設されており、仲間と楽しく

学ぶ体制ができつつある。今後も続けてほしい。

- ⑧ 豊かな人生を送るためにも人権教育の学習は続けてほしい。
- ⑨ 多くの学級が開設されて有難いが、参加者が少ないのが残念である。

#### (芸術文化活動の振興)

- ① ローテーションではあるが、子どもたちが近距離で直接芸術に触れる機会は大変貴重である。子の成長に大きく寄与する所である。予算確保に努めていただきたい。
- ② 10号美術展の受賞作品が蒲生ふるさと交流館でも展示され、地域の方々にも見ていただけた事は大変意義深い。
- ③ 市と市文化協会との適正な連携を望む。
- ④ 劇団「野ばら」・人形劇団「ポポロ」による小学校での公演会や加音オーケストラによる小学校訪問演奏会など、芸術に直接ふれることのできる機会が多く評価できる。
- ⑤ 小中学生による市立少年少女合唱団による文化芸術祭出演や施設慰問など成果の発表の場につながり、良い取組みになっている。今後も続けてほしい。
- ⑥ 多くの文化祭や美術展などが開催され、多くの参加者のもとで文化意識の高揚につながっている。
- ⑦ 芸術文化活動の振興に更なる推進を図ってもらいたい。

#### (生涯学習の推進)

- ① 市生涯学習フェアでは、講演並びに学習成果発表、展示物等、視聴覚共に参加者は楽しめた。来年度への期待も大きい。
- ② 市生涯学習フェアでは、パネル展示、学習成果発表とともに講演会もあり、貴重なお話をお聞きでき、楽しく過ごすことができたと思う。
- ③ 生涯学習フェアは、各地区の活動状況等が発表・展示されて参考になる。

#### (社会教育施設の充実と利用促進)

- ① 各施設が独自色を生かしつつ、様々なイベントを企画し、利用者増に努力されている点を評価する。
- ② 蒲生ふるさと交流館での講座に参加したことがあるが、講座案内等、市報での広報がよくなされている。
- ③ 各施設において、様々な取組みがなされており、利用者、入館者数も増加していることは評価できる。今後も広報活動をお願いしたい。
- ④ 各学校や講座との連携を更に進め、施設の有効活用につなげていただきたい。
- ⑤ 本市には多くの社会教育施設がある。より多くの方に利用、活用してもらいたい。

#### (公民館事業の充実)

- ① 「私たちの(市民の)公民館」「いつでも気軽に利用できる」という身近さを市民の方々に更に持っていただきたい。
- ② 定期的な活用はなされているが、公民館利用については回数が増えていない。利用規則の作成をしたい。
- ③ 公民館講座・研修会への参加者や公民館施設利用者が増加していることは良いことである。更に魅力ある講座を企画していただき、気持ちよく学べる公民館運営をお願いしたい。
- ④ 始良公民館の土日の開設は利用者には大変有難い。他の公民館も予定があれば開設してもらいたい。

#### (公民館施設の充実)

- ① 老朽化による施設維持も財政的に大変かと思うが、それぞれの地域にあってこそその市民の集う場となっているので、施設維持のためにも早め早めの修繕等を行っていただけるようお願いしたい。
- ② 避難所指定されている始良地区公民館は、大規模災害発生時に備えて全トイレのうち1基は「汲み取り」仕様が望ましい。
- ③ 公民館にテレビ、ビデオの設置をし、避難所として整備しつつある。
- ④ 避難所としての役割も配慮いただき、安全に使いやすい環境整備をお願いしたい。
- ⑤ 各公民館施設の維持保全に修繕等が行われているが、今後は特にトイレの改善(洋式化)を行ってもらいたい。

#### (指定文化財の保存・活用)

- ① 自分の住む町、生まれ育った町の歴史を知るという事は「ふるさと愛」に繋がると思う。その事からも学校教育との連携や各講座開設、市報やパンフレットでの紹介は大切な役割を担っている。今後も各方面の方々の協力を仰ぎつつ、引き続き頑張りたい。
- ② 始良市は市誌史料刊行という他市が行っていない事業にも取り組んでおり、高く評価する。
- ③ 県文化財指定を受けた掛橋坂は、西郷どんのロケ地となり、ウォークラリーも計画されている。市の広報は市内全域に目を向けてほしい。
- ④ 森山家住宅は、駐車場整備の実施設設計が進められている。また、蒲生のクスの樹勢が回復傾向であり、今後も土壤改良など続けてほしい。
- ⑤ 始良市誌史料六(蒲生編)は、たくさんの方々のご尽力により素晴らしい史料ができた。多くの時間をかけて編集作業をしていただいた方々に感謝しています。学校でも大切に保管し、活用したいと思う。



- ⑥ 太鼓踊りなど、地域に伝わる伝統芸能を大切に引き継いでほしい。
- ⑦ 本市には多くの指定文化財があり、多額な費用がかかると思うが、良く管理・整備されており有難い。

#### (埋蔵文化財の保存・活用)

- ① 埋蔵文化財発掘調査に係る時間と労力は大変な事と思うが、始良市の歴史を知る手掛かりとなるので、引き続き調査をお願いしたい。
- ② 各種の確認調査が進められるとともに、始良市内遺跡発掘調査報告書もまとめられ、図書館等で公開されている。
- ③ 埋蔵文化財包蔵地の照会にも対応が進められている。
- ④ 埋蔵文化財の発掘調査は、調査の成果を公開されており、手作業で大変だと思う。

#### (郷土芸能の保存・育成)

- ① 後世に残したい郷土芸能の大きなひとつである。毎夏の定期的な公開には楽しみにしていらっしゃる市民が多い。
- ② 後継者不足を心配する声が聞かれたので、育成の為の補助金が交付されることは有難い。
- ③ 郷土芸能の保存のための活動が進められている。今後も保存のために後継者育成をお願いしたい。
- ④ 郷土芸能保蔵活動が地域の子どもたちの健全育成につながればと思う。継続をお願いしたい。
- ⑤ 郷土芸能保存団体に後継者育成と活動支援に補助金を交付されて有難い。
- ⑥ 後継者の育成には今後も力を入れていただきたい。

#### (施設の充実)

- ① 様々な企画や講座が開かれており、来館者増につながっている。
- ② 出土品の整理、発掘調査機材の管理は適正に行われていると思う。
- ③ 様々な講座が実施され、多くの受講者がある。郷土の歴史にふれる良い機会となっている。
- ④ 加治木郷土館は郷土の歴史を知る大切な存在となっており、高校生の利用も多い。
- ⑤ 歴史民族資料館の小学校3・4年生のまち探検や昔の道具調べへの対応は高く評価する。入館者への対応も丁寧に説明してくださっている。

## 図書館事務局関係

### (図書館のサービス業務と読書活動の充実)

- ① 貸出冊数は増えているが、入館者数が昨年より少なくなっている。原因として電子機器の普及によるものも大きいのですが、図書館としても様々な企画や講座を行っているので、広報等更に工夫していただくと増に繋がるのではないかと。
- ② 広域利用が始まったことで「便利になった」と喜ぶ声を聞いた。
- ③ H30年度から祝日も開館されるということで来館者増が期待できる。
- ④ 蒲生地区には毎月、蒲生図書館だよりは来るが、始良図書館だよりもメールでももらえれば、回覧で回したい。
- ⑤ あいあい号は校区でも楽しみに利用している人がいる。ありがたい取組みである。
- ⑥ 常に整然と整理され、利用しやすい雰囲気は維持されている。
- ⑦ 一人5冊から8冊まで貸出可能となったことにより、貸出冊数は増えている。
- ⑧ 4市連携の貸出(図書館広域利用)により、広い範囲で本の閲覧が可能になっている。今後利用者も増えると思う。
- ⑨ 図書館講演会も大変よい企画であるので、広報活動を今後もお願いしたい。
- ⑩ 各図書館は整備され、快適に利用できるが、加治木図書館は少し狭いと思う。
- ⑪ 「ものがたりレシビをいただきます」は子どもたちにとってとても興味を持って参加している事業のひとつであると思う。年に各小中学校1校ずつであると、次回の来校がとても先になるので訪問校の数を増やせないか。長く続けてほしい事業である。
- ⑫ ボランティアの方々が支える力は大きいと感じる。これからも子どもたちの為、市民の為によろしくお願いします。(同コメント2件)
- ⑬ 様々な子ども読書活動が行われており、図書館を身近に感じる機会が推進される。今後、さらに地域への周知をお願いしたい。
- ⑭ 機材の利用団体数が年々減少している。いろいろな団体へ直接、利用の案内ができないだろうか。
- ⑮ 内容等が分かれば、サロン等(高齢者のふれあい)でも活用したい。
- ⑯ ニーズに合った機材、教材の充実と広報をお願いしたい。
- ⑰ 今後の広報活動に期待します。

### (始良市図書館ネットワークの充実)

- ① 図書館システムの便利機能について分かりやすい説明での周知に努めていただきたい。
- ② ネットワークを利用した相互貸借が増加している。今後もサービス機能の周知に努めてほしい。

## 保健体育課関係

### (生涯スポーツの推進)

- ① 新しい企画も加わり、参加者増に努めている姿が伺える。
- ② かごしま国体も控えており「健康増進や親睦、体力づくりも兼ねた生涯スポーツに参加を！」と声掛けにも後押しをいただける時期である。更なる成果に期待する。
- ③ 市民の体力づくり、健康、仲間づくりのための各種大会が企画されており、多くの市民が参加されている。今後、さらに周知活動が続けられ、市民の健康への意識が高まればと思う。
- ④ 生涯スポーツは市民の体力づくり、健康増進につながっているので、今後も続けてほしい。
- ⑤ スポーツ推進委員として各種研修会や大会の運営等積極的に参加し、自身の資質向上を図っていることは評価できる。
- ⑥ 組織強化のために内規等制定の必要性が出てきたことに関しては、速やかに対処していただきたい。
- ⑦ スポーツ推進委員も校区で決まった推進委員を中心に、校区におけるスポーツ事業をより盛んにしていく働きかけをしてほしい。
- ⑧ 定例会や各種研修会等により、スポーツ推進委員の資質の向上が図られている。
- ⑨ ニュースポーツへの関心が高まりつつある中で、自主事業として研修会も実施し、技能習得に取り組んでいる。今後も生涯スポーツの推進を図るとともに、更に市民へのニュースポーツへの意欲を高めてほしい。
- ⑩ スポーツ推進員は、市民の健康増進や体力作りの為、生涯スポーツの普及を更に推進していただきたい。

### (競技スポーツの推進)

- ① 子どもの出生率が低下する中、少年団数や団員数が減少の傾向にある事も半ば仕方のない事とも受け取れるが、現在活動している団体へのサポートはしっかりと行っていただきたい。
- ② 一部施設の設備や備品の老朽化については、事故等につながることもないよう、的確な優先順位の元、修繕等行っていただきたい。
- ③ どこでどのような団体が合宿等を行っているのか、広報に努めてほしい。
- ④ 様々なスポーツ合宿が企画され、市民観戦機会の拡充など地域の活性化が図られている。
- ⑤ 平成32年度開催の国体に向けて機運が高まりつつある。様々な場面で広報活動を推進していきたい。
- ⑥ スポーツ少年団の指導者等の研修会は母集団の出席は多いが、指導者の参加



が少ないのは残念だ。

- ⑦ 2020年の鹿児島国体に始良市から多数の選手が出場することを期待します。
- ⑧ 地域行事より少年団活動を優先する指導者が見られる。現在の方向性としていかなものか疑問に感じる。

#### (体力・運動能力の向上)

- ① 電子機器の普及等により、戸外で遊ぶ姿が減った子どもたちの体力の低下を防ぐためにも「全員参加」の学校体育の存在は大きいといえる。運動能力も千差万別でしょうから、研修会で得られた知識を授業でしっかりと還元していただきたい。
- ② 各学校での体育主任の働きかけは大きい。講義や演習で体育主任の資質向上にこれからも取り組んでほしい。
- ③ 全ての小・中学校で、新体力テストが実施され、体力向上策の検討が進められている。
- ④ 小・中学校の教育主任研修会も実施され、体力向上への意識の高揚などが図られている。
- ⑤ 水泳や陸上の記録会でも、新記録が3個ずつ誕生し、記録更新への意欲の高まりも感じている。
- ⑥ 体力・健康づくりは学校・行政だけではなく、家庭でも取り組んでもらいたい。
- ⑦ 目標を持たせてのチャレンジは、大人も子どもも心がひとつになって取り組める良い機会である。今年も受賞校が複数校あり、喜ばしい限りである。続けてチャレンジしてほしい。
- ⑧ 小学校での運動習慣育成教室の実施により、運動が苦手な児童生徒の運動習慣の改善が図られている。今後も継続した取り組みをお願いしたい。
- ⑨ 各学校でも運動習慣育成教室を実施してもらいたい。

#### (健康教育の充実)

- ① 健康診断や就学児検診は適時・的確に行われているようである。多種多様なアレルギーが増えてきている中、対応策の手引書は常に見直しと更新が必要かと感じる。
- ② アレルギー対応は給食センターとも毎年、年度当初に連携をとり、個々の把握に努めてほしい。
- ③ 健康診断等を実施し、疾病等が見つかった子どもの保護者へ、就学前に治療を行うよう指導できたことは評価できる。
- ④ アレルギーのある児童生徒の把握とその内容や対応の充実を各学校で取り組むことが大切である。

- ⑤ 疾病が見つかったら治療するのは保護者の責任だと思う。
- ⑥ 地域により見守り隊の活動に違いがあるが、ボランティアで行っているため、強制もできない現状であろう。しかしながら、関係各機関と連携を取りながら学校安全計画の質の高さが伺える。見守り隊の方々の活動に頭が下がる。
- ⑦ 登下校時の安全については、学校の管理職、スクールガードリーダーがきめ細やかな指導を行っている。同時に自分で自分の身を守る児童への指導も行ってほしい。
- ⑧ 子どもたちの日々の登下校を見守ってくださっている始良っ子見守り隊の方々には、心から感謝しています。(同コメント2件)
- ⑨ 始良市は交通量が多く、交通事故の危険性も高い。また、声掛け事案など不審者を見かけたという事案もある。地域全体で子どもの見守り活動を進めたい。
- ⑩ 始良っ子見守り隊は今後も期待をするところであるが、同様の活動をしている地域のボランティアも把握し、整理していく必要があるのではないかと。

#### (食育の推進)

- ① アレルギーを持っている児童生徒への除去食等についても学ぶことのできるスキルアップ研修は、いのちにも関わる事なので、ぜひ「全員研修」として、今後も続けていただきたい。(同コメント2件)
- ② 学校と図書館等とコラボした食育教育は意義あることだと思う。これからも続けてほしい。
- ③ 食育推進校を指定することや調理員のスキルアップ研修を行うことで、食育に関する意識が高まるものと思う。
- ④ 家庭や学校と連携し、学校給食を通じ食育の推進を更に図りたい。
- ⑤ 献立作りには栄養面、アレルギー対応、費用面を考えることが多く、大変とは思いますが、児童生徒の豊かな食育の実現に向けて頑張ってください。
- ⑥ 給食費の未納対策が行われているが、現実として多いように聞く。子どもが2人も3人もいると年間では多額になり、給食の内容を下げざるを得ないようであると聞く。今後も納入対策については検討してほしい。
- ⑦ 給食費未納者への対応を、市・学校・PTAが一体となり、取り組んでいく時期になっていると感じる。
- ⑧ 家庭によっては給食が唯一のバランスのとれた食事となっている所もあるかと思う。これからも充実していただきたい。
- ⑨ アレルギーへの対応、栄養面、衛生面など様々な面で工夫された献立になっており、安全で楽しくおいしい給食を続けてほしい。
- ⑩ メニューにおいても郷土料理やバイキングなどバラエティー豊かな献立

作成に取り組まれている。

- ⑪ 食物アレルギーに対応した取組みがなされていることや食中毒発生がなかったことに感謝します。
- ⑫ 直接、調理に携わる調理員さんの健康管理はとても大切である。職場環境及び設備の管理対応を的確に行っていただきたい。
- ⑬ 夏の暑い中での調理は大変なことと思う。今後も調理員の健康管理に努めてほしい。
- ⑭ 調理機器の計画的更新が進められており、調理作業の効率化も図られている。
- ⑮ 安心・安全な調理作業が進められるよう迅速な対応をお願いしたい。
- ⑯ どの調理場も清潔な環境の中で食事づくりがなされており、外部からの入場者には厳しいチェックがなされている。

#### (国体に向けての体制作り)

- ① かがしま国体に向けて、新体制5名の方々のこれからの取組みに期待する。準備・整備など大変だろうが頑張ってもらいたい。(同コメント2件)
- ② 国体に向けた取組みが市報にも載せられ、これからのことが分かるものである。今後も開催場所等が決まったら随時、市報に掲載してほしい。
- ③ 「燃ゆる感動かがしま国体・かがしま大会始良市実行委員会」が設立され、大会に向けた組織体制が整えられたことは評価できる。今後、計画的な運営を期待したい。
- ④ 今後、開催まで広く周知を図られる事に期待します。



## 始良市教育委員会外部評価委員

番号	氏名	役職等	備考
1	原口 和哉	加治木高等学校長	学校教育
2	中森 春志	始良市スポーツ少年団副本部長	社会体育
3	馬場 修二	市PTA連絡協議会会長	PTA連絡協議会代表者
4	藤谷 和泉	社会教育委員	社会教育
5	永田 葉子	西浦校区コミュニティ協議会 支援員（元小学校長）	教育委員会が必要と認める者

## 始良市教育委員

番号	氏名	役職等	備考
1	川畑 逸郎	教職 務 育代 理 長者	
2	百武 美津代	教 育 委 員	
3	中間 博英	教 育 委 員	
4	岩元 真美	教 育 委 員	

# 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則

平成22年3月23日教育委員会規則第5号

## (趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第27条の規定に基づき、教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価（以下「点検及び評価」という。）に関し必要な事項を定めるものとする。

## (点検及び評価の対象及び時期)

第2条 点検及び評価の対象は、法第23条各号に掲げる事務及び教育施策上の重要課題とする。

2 点検及び評価は、毎年度、前年度の前項に規定する事項について行うものとする。

## (資料の整理等)

第3条 点検及び評価に資するため、事務局（法第18条に規定する事務局をいう。）は、前条第1項に規定する事項について、必要な資料を整理する。

## (教育に関し学識経験を有する者の知見の活用)

第4条 法第27条第2項の規定に基づき、点検及び評価を行うに当たり教育に関し学識経験を有する者の知見を活用するため、始良市教育委員会外部評価委員会（以下「評価委員会」という。）を設置するものとし、必要な事項は、別に定める。

## (議会報告等)

第5条 始良市教育委員会は、評価委員会からの答申を踏まえ、点検及び評価の結果に関する報告書を作成し、始良市議会に提出するとともに、これを公表するものとする。

## (庶務)

第6条 点検及び評価の実施に関する庶務は、教育総務課において処理する。

## (委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、必要な事項は、教育長が別に定める。

## 附 則

### (施行期日)

1 この規則は、平成22年3月23日から施行する。

### (経過措置)

2 この規則の施行の日の前日までに、合併前の教育に関する事務の点検及び評価の実施に関する要綱（平成21年加治木町教育委員会要綱第1号）又は教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則（平成21年始良町教育委員会規則第1号）の規定によりなされた処分、手続その他の行為は、それぞれこの規則の相当規定によりなされたものとみなす。

## 始良市教育委員会外部評価委員会規程

平成22年3月23日教育委員会訓令第4号

### (設置)

第1条 始良市教育に関する事務の執行の状況の点検及び評価の実施規則(平成22年始良市教育委員会規則第5号)第4条の規定に基づき、始良市教育委員会外部評価委員会(以下「評価委員会」という。)を設置する。

### (所掌事務)

第2条 評価委員会は、始良市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について審議し、その結果を答申するものとする。

- (1) 教育委員会の事務の点検結果の評価に関すること。
- (2) 教育委員会の委員の活動状況点検結果の評価に関すること。
- (3) その他教育委員会の点検及び評価に関し必要と認めること。

### (組織)

第3条 評価委員会は、5人以内の評価委員をもって組織する。

2. 評価委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委嘱する。

- (1) 学校教育、社会教育及び社会体育に知見を有する者
- (2) 芸術文化関係に知見を有する者
- (3) P T A連絡協議会代表者
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める者

### (任期)

第4条 評価委員の任期は、委嘱日から当該委嘱日の属する年度末までとし、補欠評価委員の任期は、前任者の残任期間とする。ただし、再任を妨げない。

### (会長)

第5条 評価委員会は、会長1人を置き、評価委員の互選によりこれを定める。

2. 会長は、会務を総理し、評価委員会を代表する。

### (会議)

第6条 評価委員会の会議(以下「会議」という。)は、会長が招集し、会長が議長となる。

2. 会議は、評価委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

3. 会議の議事は、出席評価委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

### (庶務)

第7条 評価委員会の庶務は、教育総務課において処理する。

### (委任)

第8条 この訓令に定めるもののほか、評価委員会の運営に関し必要な事項は、会長が会議に諮って定める。

### 附 則

この訓令は、平成22年3月23日から施行する。